

○ 大 塚 克 史

(20分)

【一括方式】

- 1 ポストコロナ時代を見据えた取組について
 - デジタル化の活用と推進について
 - 「重層的支援体制整備事業」の創設について

〔市 長〕

- 2 離島振興について
 - 福祉用具等の運送について
 - 移動販売車の支援について

〔市 長〕

○ 小野原 茂

(15分)

【一括方式】

- 1 今後の地場産業の活性化に向けた取組について
 - S S K新造船事業撤退後のこれからの取組について
 - 新工業団地の企業誘致の現状と課題について

〔市 長〕

○ 橋之口 裕太 (20分)

【一括方式】

1 チーム学校の構築について

国は「教育の専門性を有する教職員に加え、地域とも連携しながら、多様な職種の専門性を有するスタッフを学校に置き、校長のリーダーシップの下、それらの教職員や専門能力スタッフが自らの専門性を十分に発揮し、「チームとして学校」の総合力、教育力を最大化できるような体制を構築する。」として様々な検討を進めています。本市においても教師の資質向上はもとより、チームとして学校組織の体制強化を図るべきだと考えます。本市の現状と今後の対応について伺います。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

2 特別養護老人ホーム等の建て替え補助金の在り方について

本市における特別養護老人ホーム等の高齢者施設については、建て替え等の補助金について要綱により定めてありますが、人件費・資材費など建設に当たり、コストが高騰する中であって、本市における補助金の見直しはなされていません。本市の現状と今後の対応について伺います。

〔市 長〕

○ 小 田 徳 顕 (10分)

【一括方式】

1 石木ダム建設事業について

石木ダム建設事業をめぐり、長崎県は石木・川原の13世帯の住民と対話に向けた事前協議を申し入れた。地域住民は工事を一旦中止し、治水、利水両面でダム建設の必要性について話し合いたいと考えている。事業認定取消訴訟が最高裁で棄却されているが、佐世保市は共同事業者として今現在のダム建設の必要性を真摯に伝えていく責務があると考えているが、その点について本市の見解を問う。

〔市 長〕
〔水 道 局 長〕

2 放課後児童クラブについて

6月5日付の西日本新聞で本市の住宅街で今年3月に民家に開所した放課後児童クラブが、地域の理解を得られず3か月余りで移転を余儀なくされたとの報道があった。このクラブに限らず、騒音等の問題を抱えているクラブがある。子どもたちの安全、安心を考えると学校の余裕教室を活用することが望ましいと考える。厚生労働省や文部科学省は余裕教室を活用することを推奨しているが、本市の73あるクラブの中で、学校の余裕教室を活用しているのは僅か1クラブにとどまっている。余裕教室の活用について本市の見解と今後の課題を問う。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

○ 柴 山 賢 一

(1 5 分)

【一括方式】

- 1 アフターコロナを見据えた俵ヶ浦半島開発の検討状況について
 - 俵ヶ浦半島にある3つの廃校の活用策の検討状況について
 - 今年3月に部分供用開始した九十九島観光公園の今後の活用策について

〔市 長〕

○ 萩 原 活 (20分)

【一括方式】

1 災害時に必要とされる避難所の在り方とペットを同伴できる避難所の運用方針について

- 災害時の避難所の重要性が見直される中、注目されているペットを同伴できる避難所が当市でも6月の「広報させぼ」で発表されている。佐世保市内で4か所を指定されており、その選定基準方法が不明確のようであるが当市としての選定方法の基準について

〔市 長〕

2 佐世保市が管理する都市公園、自然公園における林野火災対応について

- 世界各国で増えつつある林野火災であるが、令和3年2月には東京近郊の地域において大規模な林野火災が発生している。佐世保市も森林に囲まれている中に自然公園が多く点在しており、その多くの公園の火災対策について
- 再開発中の名切公園においてもキャンプ場が新設される予定であるが、周辺地域における防火対策について

〔市 長〕